

ガンコ親父の

男子厨房に入らずと、昔からのスタイルを踏襲している男の中でも、松次郎は筋金入りだった。だが、その考え方も最近では旗色が悪くなっているようである。

会社の若い連中に聞けば、「そりゃ、男子は厨房に入るべきでしょ」と答える者も少なくない。共働きの若い家庭も多くなってきたからだろう。次男の学からは「もう親父のような人間の時代じゃないんだよ。男子厨房に入らずとかいう言葉は恐竜がうろろしている頃の話だろ、ハハハ。もう白亜紀に死に絶えたと思っただよ」とからかわれた。

松次郎はムカツとして、「そっすいうお前も人のことは言えんな。学が料理しているところなんか見たことがないぞ」とゴジラの顔になって反撃した。ただ、冷静になってみると「イクメン」と同じように「料理男子」はもう特別な単語ではないような気もする。

しかも「料理男子」は女性の大きな支持を受けているので強い。料理は趣味の世界にも通じ、若い男性タレントの料理本も目立つようになっている。その漢字4文字は後ろ向きな単語ではなくて、むしろ現代においては前向きで積極的な男の生活姿勢と受け止められているようだ。

「あー、お父さん何してるの？卵パックをそんなに抱えてきて」と、台所に入ろうとしていた松次郎を見て、妻の貴代が首をひねった。松次郎はニヤツと微笑みを入れ替えたのだ。これからは手伝わないと。今度の運動会の日のおかずの候補で、今日はその試作品作りなのだ。

結婚生活も長くなった今、ついに松次郎の「男子厨房に入らず」の頑固な意志は揺らぎ、撤回されようとしている。誰だって心が柔軟になることは悪いことではないし、特に松次郎は度が過ぎて頑固だから、歓迎すべきことだ。ただ、フライパンの収納方法が悪いとか、砂糖がもう残ってないぞ、買っておけ！などうるさい。「はいはい、わかりました」。

「はいは一回でいいー！やれやれ、男子厨房はうるさすぎる。貴代は苦笑いを浮かべた。

「台所からいい匂いがしていると思ったら、なんで親父が母さんのエプロン着けてんの？」と、ちやうど帰宅した学は目をデーンにした。「凄いだろう」と大きな卵焼きが乗った皿を見せられた。「お前にも特別に試食させてやるつ。まあ、ほおが落ちても知らんが」と料理男子に変身していた松次郎は胸を張り、どうだと威張った。

学は一口目こそ卵焼きの味に納得したが、二口目には「ジャリッ」と口の中でタマゴの殻が砕けた。「へへ、やっぱり半人前だな、親父の腕前は。親父のこういうのを『ひよっこのカラ威張り』だというのかもな」と、余計なことを言ってしまった。「何、ひよっこだと。このやろう、言葉を選べ！」松次郎の頭に血が上った。

「まあ二人ともまた喧嘩して。せっかくだから、お父さんの自信作で一杯やったら」と『しまっちゅ伝蔵』の瓶を差し出した。やつぱり、この人たちにはこれが一番よねとか言いながら、貴代はちゃっかりと自分のコップを手に入っていた。

奄美黒糖焼酎



しまっちゅ伝蔵

常圧蒸留

昔ながらの手造り
こだわ焼酎

喜界島の豊沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12
☎0997(65)0251

25度
好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。



「料理男子」に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp>

お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。